

平成29年度

事業名	空家等対策推進事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 都市政策課	目	都市計画総務費
		総計	3-1-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
一般財源	5,507	非常勤職員報酬	257	印刷製本費	250
国補助		個人補助金	5,000		
府補助					
市債					
その他					
合計	5,507				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市内空家等の流通・利活用を推進する	平成 28 年度に策定する大東市空家等対策計画に基づき、具体的対策として補助事業等を新規実施する	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	平成 32 年度まで大東市空家等対策計画に位置付けている施策を実施する	協議会は 8 月頃および 2 月頃に、計画の進捗状況および特定空家等に対する是正状況等の報告を行う予定である 補助制度は、年度内に制度要綱を施行、周知後に補助を実施	

内容		目標	
指標	大東市人口	総計	H32 130,000 人
		KPI	H32
	申請件数(H29~32 合計)	独自	H32 40 件
人権行政の視点		市民の自由権および財産権を確保することに寄与	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	多様な暮らし方を支援する住まい・まちづくりを推進する(住マス基本方針 5)	利活用等を促進することにより空家等の数を減らすため

平成29年度

事業名	まちづくり調査検討事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 都市政策課	目	都市計画総務費
		総計	3-1-1

事業費		予算額(千円)	予算内訳(千円)
一般財源	4,491	事務業務委託料	4,491
国補助			
府補助			
市債			
その他			
合計	4,491		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	平成 32 年人口 13 万人をめざすため都市計画上の課題等の解消を図る	龍間地域におけるまちづくり計画案の検討 市域の景観形成に関する調査検討 東部地域道路網築造に係る基礎調査	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	龍間地域のまちづくり…情報収集(H27-28)、まちづくり計画案の検討(H28～) 景観および道路網…着手(H29)	4月～5月頃 6月 以降	設計～入札手続き 業務委託契約の締結 年度を通して調査検討等を実施

内容		目標	
指標	大東市人口	総計	H32 130,000 人
		KPI	H32
	龍間地域まちづくり計画案の作成	独自	H30 100%
人権行政の視点		市民の自由権および財産権を確保することに寄与	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	平成 32 年人口 13 万人をめざすための都市環境づくり	東部地域を活性化するための制度等を調査・検討する

平成29年度

事業名	橋梁長寿命化等修繕事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路維持費
		総計	3-3-3

事業費		予算額(千円)	予算内訳(千円)
一般財源	25,213	事務業務委託料	38,393
国補助	43,978	設計委託料(費用)	6,027
府補助		新設改良工事請負費(国)	41,571
市債	16,800		
その他			
合計	85,991		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	①橋梁長寿命化②橋梁点検③住道デッキ ④道路ストック	① 橋梁補修設計 2 橋、補修工事 1 橋 ② 58 橋点検③住道デッキ点検④舗装工事	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	①市内の重要橋梁の維持修繕(事業期間 47年) ②市管理橋梁を点検(5年に1回) ③住道デッキ点検 ④市内の1,2級路線の劣化した舗装の修 繕事業	① 橋梁長寿命化計画に伴う補修設計を行う。 H29年度以降に補修設計に基づく補修工事を行う。 (2カ年計画) ② 2カ年に分けて橋梁定期点検要領に基づく点検を行 う。(初年度) ③ 住道デッキ点検 ④ 舗装劣化度が「ランク1」であった路線の補修、4ヶ 年計画の1年目	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	単年度達成率(事業費ベース)	独自	H29 100%
	人権行政の視点	長寿命化修繕計画を進めることにより地域の安全性 を確保し市民の安全で快適な生活を確保する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的 橋梁の経済的な管理を計画的に実施 するために、事後的な架け替えよりも 予防的な修繕によるコスト圧縮を行う	道路網の安心と安全の確保	

平成29年度

事業名	道路新設改良事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路新設改良費
		総計	3-3-3

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	52,361	普通旅費	40
	国補助	292,102	消耗品費	35
	府補助		印刷製本費	10
	市債	250,200	事務業務委託料	3,277
	その他		設計委託料(資産)	5,149
	合計	594,663	測量ボーリング委託料(費用)	5,015
			鑑定委託料	3,058
		使用料及び賃借料	72	
		新設改良工事請負費(国)	321,758	
		新設改良工事請負費(単)	35,508	
		国・土地購入費	44,340	
		建設負担金	175,700	
		単・建設事業補償金	701	

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現道の車道及び歩道の改良 ・現道の交差部の歩道段差の改良 ・人、車等の円滑な通行と安全確保のため現道を拡幅 ・道路拡幅及び交差点改良設計 	道路新設改良に必要となる用地取得・業務委託・工事を行う	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	「大東市バリアフリー基本構想」及び「大東市地域防災計画」に基づき歩道の拡幅・段差解消等バリアフリー化の整備や狭小な道路の拡幅整備を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・国費案件については6月中旬の交付決定を目途に発注手続きを行う ・単独費案件については新年度の早期に発注手続きを行う ・用地取得については、交渉が完了した箇所から順次契約していく 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	単年度達成率(事業費ベース)	独自	H29 100%
	人権行政の視点	歩道幅員の拡幅、バリアフリー化を進め、あらゆる市民の安全で快適な生活の確保、充実を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	道路環境の改善	
		<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な道路機能の向上 ・防災拠点へのアクセス向上 	

平成29年度

事業名	北条踏切改良事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路新設改良費
		総計	3-3-3

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	2,484	普通旅費	7
	国補助		消耗品費	30
	府補助		印刷製本費	36
	市債		事務業務委託料	1,928
	その他		鑑定委託料	423
	合計	2,484	使用料及び賃借料	60

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	現道の北条踏切および前後道路を拡幅し、歩道を新設して通行の安全を確保するもの	事業予定地の用地取得に係る土地境界確定・物件調査・土地鑑定評価を行う	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得準備 ・道路設計・土質調査・用地取得 ・道路工事 ・踏切内工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地境界確定 ・物件調査 ・土地鑑定評価 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	事業進捗率	独自	H32 100%
	人権行政の視点	踏切拡幅により歩道の新設をし、歩行者通行の安全確保、充実を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	道路環境の改善	安心・安全な道路機能の向上

平成29年度

事業名	深野北谷川線新設事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	深野北谷川線新設費
		総計	3-3-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	2,311		事務業務委託料 設計委託料(資産) 設計委託料(費用)	859
	国補助	5,074			9,226
	府補助				1,000
	市債	3,700			
	その他				
	合計	11,085			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	本市の南北を貫く幹線道路として、また広域避難地大東中央公園へのアクセス道として重要な役割を担っている都市計画道路 深野北谷川線の整備を行うもの	① 事業予定地の用地取得に係る道路詳細設計を行う ② 旧権現川接続部の土地境界確定・都市計画変更を行う	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	① 道路詳細設計(H29~H30) 土地鑑定・補償費算定(H30) 土地買収・物件補償(H31~H32) 道路工事(H33~H36) ② 土地境界確定・都市計画変更(H29) 道路予備設計(H30)	① 道路詳細設計(6月) ② 土地境界確定(4月) 都市計画変更(12月)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	事業進捗率	独自	H36
	人権行政の視点	100%	
人権行政の視点		道路整備によるアクセス道路の確保により、地域住民の安全確保、充実を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	道路環境の改善	・安心・安全な道路機能の向上 ・防災拠点へのアクセス向上

平成29年度

事業名	花と緑のまつり事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	緑化推進費
		総計	3-2-3

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	854		その他負担金	930
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他	76			
	合計	930			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	「花と緑のまつり」により都市緑化に関する市民の意識高揚を図ります	第32回大東市花と緑のまつりを開催します	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	・第32回大東市花と緑のまつりの開催(H29)	・まつりの開催(6月)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数(延べ)	独自	H29 6,000人
	人権行政の視点	市民参加を促進することにより、地域コミュニティの醸成に貢献する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	都市緑化の推進	市民の緑化意識の向上を図ります

平成29年度

事業名	都市公園再整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	緑化推進費
		総計	3-2-3

事業費		予算額(千円)	予算内訳(千円)
一般財源	24,191	手数料(資産)	351
国補助	82,200	事務業務委託料	5,200
府補助		設計委託料(資産)	18,210
市債	135,500	新設改良工事請負費(国)	200,211
その他		新設改良工事請負費(単)	17,919
合計	241,891		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	供用開始後 20 年を経過した都市公園についてリニューアルを図り、地域特性に応じた特色ある公園整備をめざす	<ul style="list-style-type: none"> ・新田中央公園再整備 ・野崎中公園実施設計業務 ・西楠の里公園概略設計業務(区域拡大) 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	新田中央公園再整備 2期(H30) 野崎中公園再整備工事(H30) 西楠の里公園基本設計(H30) 新田東公園、野崎南公園基本設計(H30) 西楠の里公園実施設計(H31) 新田東公園、野崎南公園実施設計(H31)	4月	新田中央公園 整備費積算 野崎中公園 設計業務積算
		5月	交付申請
		7月	発注
		3月	完了

内容		目標		
指標	市民 1 人あたり公園面積	総計	H32	4.06 m ² /人
		KPI	H32	
	市内の都市公園の再整備率	独自	H42	100%
人権行政の視点		子供から老人まで、幅広い年齢層の市民に憩いの場を提供する		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	魅力ある公園づくり	地域特性に応じた施設整備を図る

平成29年度

事業名	中垣内浜公園新設事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	中垣内浜公園新設費
		総計	3-2-3

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	7,852	手数料(資産) 新設改良工事請負費(国) 新設改良工事請負費(単)	351 100,156 9,645	
	国補助	50,000			
	府補助				
	市債	52,300			
	その他				
	合計	110,152			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	計画面積 約 1.5ha の施設整備	第Ⅱ期 施設整備	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	第Ⅰ期施設整備(H28) 第Ⅱ期施設整備(H29) 第Ⅲ期施設整備(H30) 第Ⅳ期施設整備(H31)	5月 国費申請 6月 工事発注 3月 整備完了	

内容		目標	
指標	市民 1 人あたり公園面積	総計	H32 4.06 m ² /人
		KPI	H32
	供用面積	独自	H31 1.5ha
人権行政の視点		災害発生時の防災拠点を整備し、市民の生命・財産を守るとともに、平常時には憩いの場を提供する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	生活環境の向上	
		地域の防災拠点の形成を図る 地域コミュニティの形成を図る	

平成29年度

事業名	地域公共交通事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 交通対策課	目	交通安全対策費
		総計	3-3-1

		当初(千円)	補正(千円)	予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	57,174	7,203	非常勤職員報酬	1,013
	国補助	5,718		施設修繕料(費用)	992
	府補助			事務業務委託料	11,961
	市債			使用料及び賃借料	26
	その他			その他負担金	34,900
	合計	62,892	7,203	その他団体補助金	14,000
				消耗品費(6補)	480
				使用料及び賃借料(6補)	5
				新設改良工事請負費(単)(6補)	2,499
				庁用器具購入費(6補)	1,176
				その他負担金(6補)	3,043

		全体の事業計画	今年度の事業計画
内容		大東市内の東部地域への公共交通を導入 市内公共交通の運行管理 交通体系の調査検討	東部地域公共交通の実施(H29) 市内公共交通体系の調査検討
		全体のスケジュール	今年度のスケジュール
		東部地域公共交通の実証運行実施(H29) 市内交通体系については、コミュニティバスのルート 検証等を行い、市域全体の公共交通について、 検討する	東部地域の公共交通については、運行計画に基づき、運行 実施事業者を決定。運行事業者が運輸支局へ運行許可の 取得を行い、運行を実施 市内の公共交通体系については、交通空白地の調査・今後 の対策について検討する
		補正の内容(6補)	補正の理由(6補)
	東部地域の公共交通の実施に伴う運行負担金お よび停留所設置等の運行環境整備費用を増額	平成29年3月に策定した運行計画の内容に基づき、早急 に東部地域における公共交通の運行事業者を決定し、運行 を開始するため	

		内容	目標		
指標		阪奈生駒線(生駒登山口～寺川)の運行	独自	H30	継続
		コミュニティバス利用客数	独自	H30	171,900人
		東部地域(山麓部)での公共交通の実施	独自	H29	東部地域公共交通の年度内運行
		人権行政の視点	交通の利便性を向上させることは、生活をしていく うえでのあらゆる権利の実現に関連している		

		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
評価	目的	市内の移動手段について、利便性を高 めるため、公共交通機関との連携を図 る	利用者数・利用実態等を検証し、市民が利用しやす い公共交通を運行する

平成29年度

事業名	放置自転車対策事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 交通対策課	目	自転車対策費
		総計	3-3-4

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	27,231		事務業務委託料	31,879
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他	4,648			
	合計	31,879			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	JR3 駅(住道・野崎・四条畷)周辺の自転車等放置禁止区域内において、放置自転車の啓発・移送を行う	左記参照	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ○街頭啓発業務(平成 29 年度予定) JR3 駅周辺 年 291 日実施 ○移送業務(平成 29 年度予定) JR3 駅周辺 年 291 日実施 ○保管返還業務(平成 29 年度予定) 木曜日・祝日等を除く日の年 295 日実施 	左記参照(毎年度変更あり)	

内容		目標	
指標	放置自転車撤去台数の減少	総計	H32 2,923 台
		KPI	H32
		独自	
人権行政の視点		放置自転車等が引き起こす通行支障等の問題を啓発し、市民の安全な通行の確保や景観維持を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	歩行者の安全とまちの景観を守り、だれもが安心安全で暮らせるまちづくりを目指す	街頭啓発、移送業務、保管返還業務の継続

平成29年度

事業名	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 建築課	目	都市計画総務費
		総計	3-5-3

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	7,148	印刷製本費 事務業務委託料 個人補助金	297 38 20,750	
	国補助	10,375			
	府補助	3,562			
	市債				
	その他				
	合計	21,085			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	住宅・建築物耐震促進改修計画にて住宅の耐震化に寄与するものであり、また安心・安全なまちづくりの創造に資するもの	既存民間建築物を対象とした耐震診断、また木造住宅の耐震設計および改修工事に関して補助するもの	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	平成28年度から平成37年度の10年間	耐震診断、耐震設計・改修補助に関する申込受付(4月～) ○補助制度に伴う広報活動 ・チラシの全戸配布(9月頃) ・フェイスブック掲載(年数回)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	補助金の申込件数	独自	H29 診断50戸、設計10戸・改修15戸
	人権行政の視点	大規模な地震による被害を最小限にとどめ、市民の生命権や財産権を守る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的 建築物の耐震化の向上	補助制度の普及啓発を促進し、申込件数の増加を図る	

平成29年度

事業名	三世代家族推進事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 建築課	目	都市計画総務費
		総計	3-1-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	6,267		印刷製本費 個人補助金	297
	国補助				5,970
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	6,267			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市内における三世代同居等を目的とした、転入、転居に要する費用及び、住宅の新築、購入、リフォームに要する費用の補助制度	市内における三世代同居等を目的とした、転入、転居に要する費用及び、住宅の新築、購入、リフォームに要する費用の補助制度	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	転入給付金、住宅取得等補助金の申込受付(H29) 助成制度のチラシの全戸配布(H29) 平成27年度から平成29年度の3カ年で実施	転入給付金、住宅取得等補助金の申込受付開始(4月～) 助成制度のチラシの全戸配布(6月頃)	

内容		目標	
指標		総計	H32
	助成金利用件数	KPI	H32 50件
		独自	
	人権行政の視点	三世代同居を推進することで、家族の絆を深め、思いやりの心、人を大切にする心を育む	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	人口流入・定住促進	補助制度の普及啓発を促進し、利用者数の増加を図る

平成29年度

事業名	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 駅周辺整備課	目	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業
		総計	3-1-1

予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源		普通旅費 120
	国補助	264,114	消耗品費 89
	府補助		印刷製本費 40
	市債	364,700	手数料(費用) 500
	その他	136,931	事務業務委託料 56,334
	合計	765,745	設計委託料(資産) 2,163
			測量ボーリング委託料(資産) 4,287
		鑑定委託料 6,612	
		使用料及び賃借料 72	
		新設改良工事請負費(国) 45,036	
		新設改良工事請負費(単) 10,687	
		国・土地購入費 130,896	
		図書購入費 20	
		建設負担金 357,640	
		その他負担金 30	
		国・建設事業補償金 151,219	

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市東北部の振興を図るため、JR 野崎駅・JR 四条畷駅の周辺整備を行い、2 駅周辺で特色ある魅力的な整備を推進する	野崎駅橋上化に向け JR 西日本(株)と基本協定を締結する。また、事業用地取得の推進を図るため、土地鑑定評価業務等を行い、用地購入および物件補償を行う	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	整備期間は、平成 34 年度までを予定 【野崎駅周辺】 ・野崎駅橋上化に向けた基本協定締結 ・駅前広場、自転車駐車場整備等 【四条畷駅周辺】 ・四条畷駅前東線の整備 ・駅前広場、自転車駐車場整備等	【野崎駅周辺】 ・JR 西日本(株)と基本協定締結 ・深野四丁目 13 号線整備等 【四条畷駅周辺】 ・四条畷駅周辺事業用地取得等	

内容		目標	
指標	野崎駅・四条畷駅周辺整備における進捗率	総計	H34 100%
	人権行政の視点	快適で豊かな市民生活の確保に資する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	・特色ある魅力的な整備 ・駅周辺の利便性の向上 ・主要アクセス道路等の安全性向上	JR西日本(株)と基本協定締結 事業用地取得の推進

平成29年度

事業名	都市浸水対策事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	河川費
所属(部) (課)	街づくり部 水政課	目	都市浸水対策事業
		総計	3-5-3

事業費		予算額(千円)	予算内訳(千円)
一般財源	9,492	調査研究委託料	600
国補助	16,210	設計委託料(資産)	6,446
府補助		新設改良工事請負費(国)	77,193
市債	62,600	新設改良工事請負費(単)	4,063
その他			
合計	88,302		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
集中豪雨等による浸水被害を軽減するために効果的な雨水貯留施設等の整備を進める		住道北小貯留施設整備工事 深野北地内水路改良工事に伴う設計業務委託	
全体のスケジュール		今年度のスケジュール	
内容	H30 谷川中貯留施設整備工事 諸福中貯留施設実施設計業務委託	4月 業務委託費・整備工事費 積算	
	H30 深野北地内水路改良工事	5月 交付申請	
	H31～貯留施設整備実施設計および整備 工事を順次実施	6月 発注	
		8月 整備工事完了	
		3月 業務委託完了	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	小中学校の貯留施設整備率(箇所数)	独自	H40 100%
	人権行政の視点	内水排除等の施設を整備し、減災・防災の観点から市民の生命と財産を守る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	安心して暮らせるまちづくり	雨水貯留施設整備等のハード面の対策を進める

平成29年度

事業名	水路整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	河川費
所属(部) (課)	街づくり部 水政課	目	河川改修費
		総計	3-2-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	38,175		調査研究委託料	856
	国補助	64,000		設計委託料(資産)	30,260
	府補助			測量ボーリング委託料(費用)	663
	市債	114,800		維持補修工事請負費(資産)	2,127
	その他			新設改良工事請負費(国)	160,000
	合計	216,975		単・建設事業補償金	10,372
				その他補償金	12,697

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	水路の修景整備などを実施することで、水路の環境改善を図り、市民に親しまれる水辺環境を創出する	新田地内水路・道路整備に伴う橋梁等実施設計業務委託 他 2 件 新田地内水路・道路整備工事 他 1 件	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	灰塚及び太子田水路整備実施設計(H30)	4 月	業務委託費・整備工事費 積算
	灰塚水路整備工事(H31～H33)	5 月	交付申請
太子田水路整備工事(H31)	6 月	発注	
新田地内水路・道路整備工事(H29～H32)	3 月	業務委託・整備工事完了	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	整備工事進捗率(延長)	独自	H33 100%
	人権行政の視点	地域の実情を十分に把握し、地域住民の快適な生活を実現するための整備を実施する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	水辺の保全と活用	都市にうるおいを与え親しまれる水辺環境を創出する水路整備を進める